

# 賛助会員会報

☆☆ 木 曾 ☆☆ 第132号

平成31年1月16日

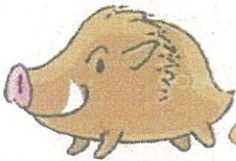
## 謹賀新年 木曾地区賛助会の飛躍の年に

新しい年を迎え、会員の皆様のご健勝と活動グループの益々のご発展をご祈念申し上げます。本年も賛助会活動へのご支援・ご協力を宜しく願いいたします。

平成31年(2019年、亥年) 1月

木曾地区賛助会役員一同

## 新年のごあいさつ



木曾地区賛助長 古澤幸子



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、平成最後の新しい年を健康にみちた明るい気持ちでお迎えになられたことと存じます。

日頃は、木曾地区賛助会活動へ温かなご支援をいただきありがとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、木曾地区賛助会も新しい役員体制のもとに1年半ほど経ちました。この間、活動グループも増え、新たに賛助会員になっていただいた皆さんも何名かおられ、会員数はまだまだ少人数ではございますが、少しずつ活動にも活気が出てきたように思います。昨年は新たに活動グループ交流会を開催することができました。これもひとえに先輩の皆様・シニア大学の皆様・事務局の皆様ののお力添えのお陰と感謝申し上げます。私自身、この1年間県本部(長野学部)の専門コースに通わせていただき、大いに視野を広げることができたように思います。この経験をこれからの賛助会活動に活かしていきたいと考えています。

昨年11月に行われた郡シニア作品展では、作品のレベルが年々高くなっていることを実感しました。来場された皆さんの感想からも、素晴らしい作品の数々に刺激され、創作意欲につながっている様子うかがえます。来年度も多くの方々の作品をお待ちしています。また、中信地区賛助会懇談会も木曾が当番支部になりますので、開催に向けて準備を進めてまいりたいと思います。会員の皆様にもご案内を差し上げる予定です。

本年も引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、会員の皆様・関係各位のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 賛助会「活動グループ交流会」開催

昨年の10月16日(火)に、初の試みとして「木曾地区賛助会活動グループ交流会」を開催しました。同じ賛助会員でありながら、「他の活動グループの様子がわからない、どんな方々が活動しているのか知らない、交流して仲良くなりたい。」こんな声に応えての開催です。

ポスター作り(古布の会)⇒

開催当日、どのくらいの方々に集まっていたか心配でしたが、4グループ12名の皆さんに参加していただきました。古澤会長にご挨拶をいただき、活動グループごとに名札作り、グループ活動紹介のポスター作りを行ったあとは、お待ちかねのティータイム(ブレイクタイム)です。お菓子やお漬物、煮物を食べながらお茶やコーヒーでほっと一息です。いよいよ各グループの発表です。お茶を飲みながらの温かい雰囲気の中で発表を聞き、それぞれのグループのよさやさらに工夫できそうなことなどを付箋に記述、それをポスターに貼ってまとめます。予定時間を30分もオーバーして終了となりました。



活動グループの発表(36期生書道教室)

参加された方々にとっても、初めてのことで不安もあったかと思いますが、10月5日のマレットゴルフ大会で互いに顔見知りになっていた皆さんもおられ、笑顔や笑い声のあふれる交流会になったように思います。

まとめていただいた活動グループのポスターは、1月下旬に予定している2年生講座「シニア大学以降を考える」の中で使わせていただきます。

次年度以降の開催につきましては、今回(第1回)の交流会の反省をもとに賛助会役員の皆様と検討してまい

たいと思います。ご多用の中、参加していただきました賛助会員の皆様、本当に有難うございました。

木曾地区賛助会グループ交流会に参加して

幹事長 原光子

去る10月16日に木曾地区賛助会では初めての試みとして「賛助会グループ交流会」を木曾合同庁舎で開催しました。参加者は思ったよりは少なかったのですが、コーディネーターさんの助けもあって有意義な時間を過ごすことができました。

はじめに各グループの自己紹介と活動発表を行いました。お互いのグループのよさや、さらに工夫できそうな点を付箋に書きながら意見交換を行いました。ボランティアでシーツ交換する「朝陽」、自作のカップでコーヒーを飲む「陶輝会」、先生の手本を学ぶ「36期生書道教室」。つるし雛や郷土料理を作る「古布の会」の皆さんは80歳を過ぎてもとても元気でパワーがあります。「100歳まで頑張ろう」と目標を掲げていました。

情報交換後は楽しいお茶の時間です。各グループの活動に「いいね」「すごいね」とおしゃべりしながら楽しい交流会を終えました。

来年度も、この交流を続けていきたいと思いました。

# 第23回木曾地域シニア作品展

## 盛大に開催

レベルの高さ、頑張り示す作品431点！  
400名を超える来場者

本年度より名称を一部変更しました木曾地域シニア作品展が、昨年11月13日（火）、14日（水）の2日間、上松町ひのきの里総合文化センターで開催され、235名の個人、団体の方々から延べ431点の出品をいただきました。出品者数は昨年を上回りました。

（昨年出品者数 226 名、作品数 450）

2日間ともに好天に恵まれた小春日和の中、来場者数も昨年を上回りました。今年度も見ごたえのある作品がたくさんありました。出品者、来場者、関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

13日のオープニングセレモニーでは、田ノ上國雄木曾地区賛助会副会長のあいさつに続きまして、2018信州ねりんピック高齢者作品展の表彰（賞状伝達）が行われ、県社会福祉協議会会長賞を受賞された野村武敏さんに木曾保健福祉事務所長より賞状が贈られました。県議会議員の村上淳様、上松町長の大屋誠様からご祝辞をいただき、このあと、村上県議会議員、大屋町長様、並びに主催者の宮島木曾保健福祉事務所長様、武重慧郡老人クラブ連絡協議会長様、田ノ上副会長の5名によるテープカットで華やかに開幕となりました。



テープカットで開幕です

今年は県高齢者作品展の入賞作品も会場ステージ上に展示され、多くの皆さんに鑑賞していただくことができました。



2日間で430名の皆さんに会場いただきましたが、来場者の皆さんの真剣に作品を見つめる姿、お互いに交流を深めあう姿が印象的でした。来年度は上松町庁舎の新築工事が予定されており、上松町ひのきの里総合文化センターが使用できなくなりますので、会場を変更して開催する予定です。大勢の皆様のご来場をお待ちしています。

ご来賓の皆様 有難うございました

〔 参観者の方から寄せられた感想より(一部) 〕

- ・いろいろな趣味というか、皆さん多才だなあとうっとりです。楽しく見させていただきました。
- ・様々な分野での作品を楽しく拝見した。皆さん、精力的に頑張っていて素晴らしいと思う。
- ・みんなものすごいと思った。私も習ったりしていても、ものにならないものでも勉強だと思ってやっています。
- ・「やる気があれば何でもできる」とパワーをいただいた気がします。私も老後の楽しみを見つけたい。
- ・自分にはない才能を見て、なんて私には何もないだろうとがっかりします。でも、仲間の作品を見るのも楽しかったです。
- ・受賞作品をはじめ、全ての作品に意気込みを感じます。シニアとして、仲間としてともに出品していきたいですね。
- ・皆さん素晴らしい作品ばかりで、年輪を感じる作品も数多く出ていて感心するばかりです。シニア大学を卒業して10年も過ぎ、最近鑑賞させてもらうばかりです。



真心のこもった作品に癒されます



一瞬を切り取る写真展

- ・すべて素晴らしい作品です。趣味豊かな人々の素晴らしい生き方です。ますます若くなる作品でした。
  - ・どの作品も力作ばかりで感動しました。高齢者になっても趣味があることはいいことです。
  - ・皆さんの作品を見せていただき、感心しきりでした。自分の作品の一層の努力を感じます。来年は、と思いました。
  - ・シニア大生に特定してみると、昨年よりは一段と技術、センスが上に行ったと思います。全般頑張っている立派な作品が多い。
  - ・とても素敵だと思いました。気持ちが穏やかになり、また来年も来ます。
  - ・毎年出している方々の作品は、今年は何を出しているか楽しみです。
  - ・皆さんすばらしい作品で感動しました。なんだかがんばらなくては、と思いました。
  - ・感心するものばかり。何かに集中できることはうらやましいです。
  - ・皆さまいろいろな勉強をされていて感心です。刺激されて、また自分も頑張りたいと思います。
- 県高齢者作品展 入賞作品⇒**
- ・素晴らしい作品ばかりでした。趣味で作ったものを見てもらう場があることは、とても良いことだと思いました。
  - ・去年より出品が少し少なくなったと感じまし



たが、熱意が感じられる作品が多かったと思います。

- ・それぞれにすばらしい作品。皆さんの前向きな姿にただただ感心するばかりです。ありがとうございました。
- ・毎年来場しています。名前を見てなつかしく思い出します。
- ・すばらしい作品が多く出品されていると思います。自分でも何か作ってみたいです。

## ○ 木曾地区賛助会講演会 同時開催

「振り込め詐欺をやっつけろ」

立川流落語家：真打

たてかわひらりん

立川平林 先生

木曾地域シニア作品展第1日目の11月13日(火) 13時30分から、上松町ひのきの里総合文化センター2F大会議室に於いて、賛助会講演会を開催しました。賛助会員、シニア大学生、一般の方を合わせて94名が立川平林先生の落語を楽しみました。特急しなのに酔って大変だったことを落語の枕に、聴衆を一気に引き込む話術はさすがに真打です。休憩を挟んでのあつという間の90分でした。講演終了後、早速平林先生のブログには上松の講演会の様子が書かれていました。



「今日は名古屋から特急しなので木曾郡上松町まで。いろいろな処に行けるのも、遠くに行けるのも落語家の醍醐味。とっても楽しいのですが、特急しなのはほんとに苦手。揺れる揺れる。今日も、過酷な状況になりましたので、帰りは中央線で帰りました。大勢の皆さま、お付き合いありがとうございます。去年、お隣の木曾福島さまにてご縁をいただき、隣の町へと繋いでいただきました、有難い限りです。たっぷりと振り込め詐欺から悪質商法までお伝えさせていただきました。とっても素敵なロケーション。またゆっくり寄りかせていただきたいです。」

(立川平林先生のブログから)

なお、演題の字は今年も賛助会グループ「第36期生書道教室」のグループ長・森 辰昭さんにお願ひしました。ありがとうございました。

(参加者の感想)



- 詐欺は相手が見えないから話を変える、というヒントを得た。今の時代にあった落語であった。合言葉対応は有効と感じた。
- 振り込め詐欺は経済効果がある(不正な効果)すぐに忘れるかもしれないが、良い案件であった。
- 各種詐欺の防止を楽しく解りやすく教えていただき、とても参考になりました。
- 解りやすく楽しい時間でした。さわやかでした。勉強になりました。若さもよい。

○先生の落語は2度目です。その都度、その時期の被害の話は分かりやすく、聞かたびに新鮮で改めて世間、世の中の状況を再確認。新鮮な落語を聞いている感覚。素晴らしい啓発落語。また聞かせてほしいと思いました。

- 落語を参考に、詐欺にかからないように気を付けます。
- 内容はとても参考になりました。今夜、家族会議を開き、合言葉を決めたいと思います。合言葉の大切さも。
- 変わった視点から詐欺を学ぶことができました。
- 食後ということで生あくびが正直出てしまうが、少しずつ引き込まれていく内容となつてほつ。自分は大丈夫と思ひ込んできたが、今回で不安がつつた。
- 気を付けなければならないテーマであり、少し眠気もありましたが楽しく聞くことができました。経済効果があるとは考えられなかった。
- さすがに嘶家さんのしゃべりは一流で、身近な話題をうまく頭に入れてくださった。一度だけでなく、何度も聞かせてもらいたい。



## シニア大学 1 年生 地域活動の様子

1 年生は 4 班に分かれて地域活動に取り組みました。この活動経験をもとに 2 年次ではテーマ別に分かれてボランティア実践活動へとつなげていく予定です。

この活動が、賛助会活動グループへとつながることをねがっています。

- |     |   |
|-----|---|
| 1 班 | 南木曾町で桧笠作り なぎそねこ見学                                     |
| 2 班 | ボランティア活動フォーラム参加 (南木曾町)<br>〔南木曾町豪雨災害に学ぶ〕 ~ 私たちにできること ~ |
| 3 班 | 大桑村お宝さがし 定勝寺等の見学                                      |
| 4 班 | 「グレイスフルきそ」でのボランティア (環境美化・交流・包丁研ぎ等)                    |



### (地域活動を終えて 1 年生の感想です)

- ◇組合長さんから桧笠の歴史を伺い、永い年月伝承されてきた事実に感動しました。地域の生活の中で欠くことのできない桧笠の実用性に驚かされました。家に帰り、残った材料で桧のコースターや鍋敷きなどを作りました。大変気に入っています。(1 班)
- ◇ボランティアセンターは災害が起きた時、その地域に立ち上げることを初めて知った。そして、そのセンターでは様々な種類のボランティアを受け入れることも初めて知りました。(きちんとしたルールのもとで稼働していること、ボランティアの受け入れ方法、配置、終了までしっかりしたケアをしていること等々) ボランティアは力仕事が必要と思っていたので、こんな弱いものでもできる手助けがあることを知り、今後に生かしたいと思いました。また、このボランティアセンターの存在と仕事等を情報として流し、多くの人に知ってもらおうべきと感じました。(2 班)
- ◇反省会で施設長さんから「月 1 回のペースで来てくださるんですか?」と言われました。期待されているような言葉を、とても嬉しく聞きました。一人ではできないことなので、皆の思いが集まれば月 1 回くらいの活動は続けられるのではと思っています。(4 班)

### (編集後記)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。昨年 11 月には木曾地域シニア作品展と講演会を、皆さんとご協力のもとで開催できました。南天の盆栽が気に入り、当番の方に実生からの育て方をお聞きしました。今年こそは南天の実生に挑戦してみようと思います。縁起物の南天にあやかって、難を転じて健やかに暮らせるよう願っています。

編集委員 越立由美子

# 人生100年時代

# 会員募集

あなたも一緒に活動しませんか！

生きがいづくり

健康づくり

仲間づくり

社会参加活動



木曾地区賛助会では、

生きがいづくり 健康づくり 仲間づくり 社会参加活動の推進

のために、次のような事業を行っています。

☆グループ活動（現在6グループが活動中です）

- ・5名以上で新たなグループの立ち上げもできます。

☆スポーツ交流会(大桑スポーツ公園) 10月

- ・30年度は、大桑村スポーツ公園でマレットゴルフを楽しみました。

☆木曾地区シニア作品展（上松町ひのきの里総合文化センター）11月

- ・30年度は235名の方から430点の作品が展示されました。

☆研修会(上松町ひのきの里総合文化センター)

- ・30年度は、11月に講演会を開催しました。シニア作品展・研修会（講演会）は31年度は「木曾町文化交流センター」で開催予定です。

☆信州ねりんピックへの参加 9月

- ・佐久市で開催され、「作品展」「式典・交流イベント」等に参加しました。
- ・31年度は、9月21日（土）に飯山市で開催予定です。

☆「賛助会員会報」の発行

- ・年4回、情報誌「信州りらく」とともにお届けします。

☆活動グループ交流会 10月 ※ 新たな取組です

- ・30年度第1回目を開催しました。お互いの活動グループの情報交換の場です。

賛助会への入会申込み・お問い合わせは、

○木曾保健福祉事務所福祉課内

(公財)長野県長寿社会開発センター木曾地区賛助会事務局

電話 25-2218 FAX 24-2350

○各グループ長やお知り合いの賛助会員まで

お気軽に声をかけてください

# 「シニア大学 木曾学部」で 仲間と楽しく学んでみませんか！

シニア大学は、高齢者の仲間づくりと知識の涵養を高めながら、生きがいと健康づくりを図り、積極的な社会参加の実践者を養成する目的で、公益財団法人長野県長寿社会開発センターが、運営しています。



## ○受講対象者（入学資格）

おおむね 50 歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり地域活動を行おうとする方

## ○学習内容（例）

- 〈社会活動講座〉 地域活動として何ができるか考えて実践し、社会参加(貢献)への足がかりとする講座
- 〈教養講座〉 「木曾の歴史・自然」「文学」「健康」「国際理解」などの教養を身につける講座
- 〈実技・選択講座〉 書道、短歌、俳句、陶芸、デジタルカメラ撮影などを行う講座
- 〈その他〉 調理実習や赤沢美林研修などの移動講座

## ○学習時間

受講年限は 2 年。年間の標準学習日数は、15 日。（木曾学部は 19 日）  
授業の時間は、概ね 9 時 30 分から午後 2 時 30 まで 1 日 4 時間。

## ○費用

授業料（年間）10,000 円（予定）  
\*その他、学年ごとに組織されている自治会で会費を徴収しています。  
また、実技・選択講座などで教材費が必要となる場合があります。

## ○平成 31 年度入学生：募集期間

平成 31 年 2 月 1 日（金）～平成 31 年 3 月 15 日（金）

## ○教室所在地


木曾合同庁舎 講堂

知り合いの  
方などに、  
ぜひお勧め  
ください。

皆様のご応募  
お待ちしております!!



## お問い合わせ先

 公益財団法人 長野県長寿社会開発センター  
木曾支部 事務局  
木曾保健福祉事務所 福祉課 社会係  
電話 0264-25-2218